



日本中央競馬会
特別振興資金助成事業

平成 20 年度家畜生産技術向上等特別対策事業
(めん山羊生産技術向上特別対策事業)

家畜改良センター 技術マニュアル 9

子羊の早期離乳と人工哺育

独立行政法人 家畜改良センター

平成 21 年 3 月

社団法人 畜産技術協会

「子羊の早期離乳と人工哺育」の複製にあたって

「家畜改良センター 技術マニュアル 9 子羊の早期離乳と人工哺育」は、独立行政法人家畜改良センターが、ラム肉の効率的な生産を図るための、飼養管理に係る技術指導書として平成15年3月に刊行したものを、一部内容を改めて平成19年9月に作成したものです。

この技術書は、早期のラム肉生産を図る上で、めん羊の飼養管理指導者、飼養者等にとって極めて有益な技術指導書ですが、残部数がほとんどない状況にあると聞いたところです。

そこで、当協会は、子羊の早期離乳と人工哺育技術の普及を図り、ラム肉生産の向上に資するため、複製して関係者に配布することとし、独立行政法人家畜改良センターに著作権料無料による複製の許可をお願いしたところ、快く許可を下さり、ここに複製の運びとなりました。このことにつきまして、独立行政法人家畜改良センターに深く感謝申し上げます。

本書がめん羊関係者に活用され、ラム肉生産技術が向上することより、めん羊の振興が図られることを期待しているところです。

平成21年3月
社団法人 畜産技術協会

はじめに

昭和 32 年には日本にも 100 万頭近いめん羊が飼養されていましたが、昭和 34 年の羊毛の輸入自由化等経済情勢の変化によって飼養頭数は激減し、昭和 51 年には約 1 万頭にまで減少してしまいました。その後、サフォーク種によるラム肉生産を主目的として、水田再編対策や地域振興対策の中にめん羊が取り上げられ、平成 3 年には 3 万頭前後まで回復しましたが、確固とした流通経路を持たない国産ラム肉は行き場を失い、販路を見出せぬまま再び減少の道をたどることとなり、平成 9 年には全国で 16,300 頭と報告されています。

現在も飼養頭数はやや減少または横這い傾向で推移しているものと思われますが、近年、首都圏を中心に国産ラム肉に対する評価が高まるにつれて、ラム肉の生産が需要に追いつけない状況も見られます。新たな販路を開拓し、国産ラム肉が『ジギスカンの肉』から『高級ラム肉』へと変貌を遂げたことは、めん羊生産者及び関係者の一途な信念と地道な努力の成果といえるでしょう。

ニュージーランドやオーストラリアからのラム肉の輸入形態がフローズンからチルド主体に変わりつつある中で、国産ラム肉の地位を維持、向上させていくためには、国内のめん羊の増頭及びラム肉の安定的な生産と供給が望まれるところです。そのためには、今後、季節外繁殖による周年ラム肉生産や、生産された子羊の損耗をいかに少なくするかということも生産現場としては重要なことです。

本書は、家畜改良センター十勝牧場における子羊の哺育管理についてまとめたものであり、ここに書かれていることが全てのめん羊生産現場ですぐに活かせる内容であるとはいいきれません。しかし、これまでに当場で得られたデータや技術のノウハウをめん羊を飼育されている方々に提供することにより、少しでも国内のめん羊の増頭につながるのであれば、これほどの喜びはありません。

家畜改良センター十勝牧場

目 次

はじめに	1
I 早期離乳	7
1. 離乳の時期	7
2. 早期離乳の目的	8
3. 子羊の栄養	9
1) 子羊の養分要求量と母羊の泌乳量	9
2) 固形飼料の消化	9
3) 反芻胃の発達	11
4. 早期離乳が可能な子羊	11
5. 早期離乳における母羊の飼養管理	11
1) 妊娠期の管理	11
2) 授乳期の栄養	13
3) 妊娠期から授乳期の飼料給与	16
6. 早期離乳子羊の飼養管理	18
1) 分娩直後の管理	18
2) クリープ・フィーディング	18
3) 哺乳子羊の飼料給与	20
7. 離乳とその後の管理	22
1) 離乳と母羊の乾乳	22
2) 離乳後の子羊の管理	22
8. 早期離乳のまとめ	24
II 人工哺育	29
1. めん羊における人工哺育	29
2. 補給哺育と完全人工哺育	30
1) 補給哺育	30
2) 完全人工哺育	30
3. 完全人工哺育の方法	31
1) 初乳の給与	31
2) 哺乳の方法	32
3) 液状飼料から固形飼料への移行	34
4) 固形飼料の給与	34

4. 人工哺育における注意点	35
1) 保温	35
2) 銅中毒対策	36
Ⅲ 新生子羊の管理	39
1. 子羊の活力に影響を及ぼす要因	40
1) 母羊の要因	40
2) 新生子羊が抱えている問題	40
2. 子羊の損耗を減らすために	41
1) 母羊に対する対策	41
2) 子羊に対する対策	42
3) 環境対策	42
3. 新生子羊の観察と異常のチェック	42
1) 観察	42
2) 異常のチェックポイント	43
4. 子羊の異常とその対処	44
1) 下痢	44
2) さい帯炎	45
3) 眼瞼内はん	45
4) 伝染性膿胞性皮膚炎	45
5) 関節の異常（突球）	46
5. 虚弱子羊の介護	46
1) 仮死状態の子羊	46
2) 自力で初乳が飲めない子羊	46
3) 低体温症の子羊	47
おわりに	50